

ECBは6会合連続で利下げを決定

- ECBは6会合連続で利下げを決定、預金金利は2.25%に
- 金融市場は次回6月理事会での追加利下げを確実視
- 世界貿易戦争の影響を見極めつつ追加利下げを判断へ

■ ECBの利下げ継続を見込む金融市場

欧州中央銀行（ECB）は4月17日理事会で、6会合連続の利下げ（預金ファシリティ金利は2.50%→2.25%）を全会一致で決定しました（図1）。今回の利下げは事前に織り込まれていたため、金融市場の反応は限定的でした。

ECBの政策金利見通しを反映するオーバーナイト・インデックス・スワップ（OIS）の動きを見ると、市場ではECBの年内利下げはあと0.5%程度（6月か7月、そして9月の理事会で0.25%ずつ）との見方が大勢のようです。

■ ラガルド総裁は会合毎に判断する姿勢強調

ECBは声明文で「金融政策は制約的でなくなりつつある」との文言を削除、またインフレ鈍化は順調に進展も貿易摩擦により成長見通しが悪化しているとしました。ラガルド総裁は異例の不確実性で経済見通しは不透明になっているとし、今まで以上にデータを見極めた上で会合毎に適切かつ機敏に判断する姿勢を強調しました。

国際貿易摩擦による経済への影響について、景気面で市場心理の悪化が確認され始めました（図2）。他方、インフレは安定傾向が続くなか、短期的には原油などエネルギー安やユーロ高による輸入物価鈍化の効果、中長期的には需要減速による物価押し下げ効果などを考慮すると、ECBが追加利下げを実施する公算は高いとみます。

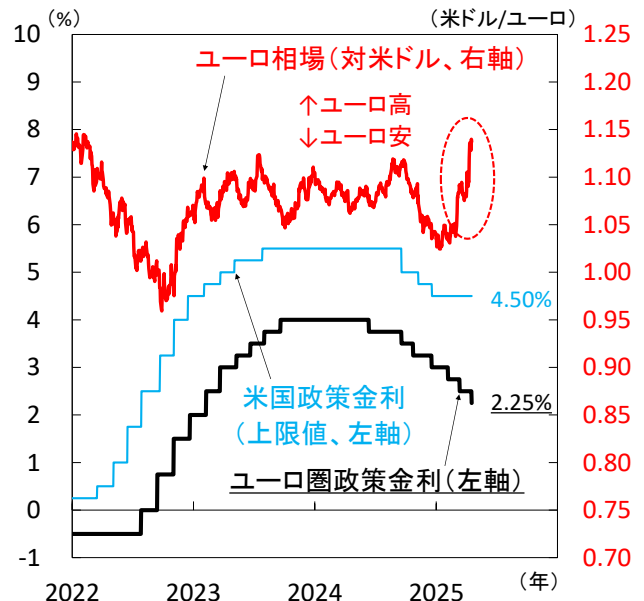
■ 6月も追加利下げの公算高いが不透明感も

ユーロ相場（対米ドル）は、3月のドイツ財政支出拡大に伴う景気回復期待で急騰した後も堅調です（図1）。足元は米トランプ政権の関税政策など予測不能な動きがもたらす米国の信認低下（米ドル安）が一因との見方もあります。ただしユーロ高は、ドイツなど域内製造業に対し自動車関税に続く逆風となりうる点は要警戒です。

欧州連合（EU）は、3月に鉄鋼・アルミ関税を発動した米国への報復措置を90日間延期することを決定するなど冷静な対応を見せています。一方、大幅な関税引き上げの応酬となった米中を軸に、世界貿易戦争の行方は予測を許しません。各国の対米通商交渉の進展度合いをにらんだ金融政策姿勢の変化にも注意が必要です。（瀧澤）

【図1】 ECBは6会合連続で利下げを決定、
他方、為替市場ではユーロ高進行も目立つ

欧米政策金利とユーロ相場（対米ドル）

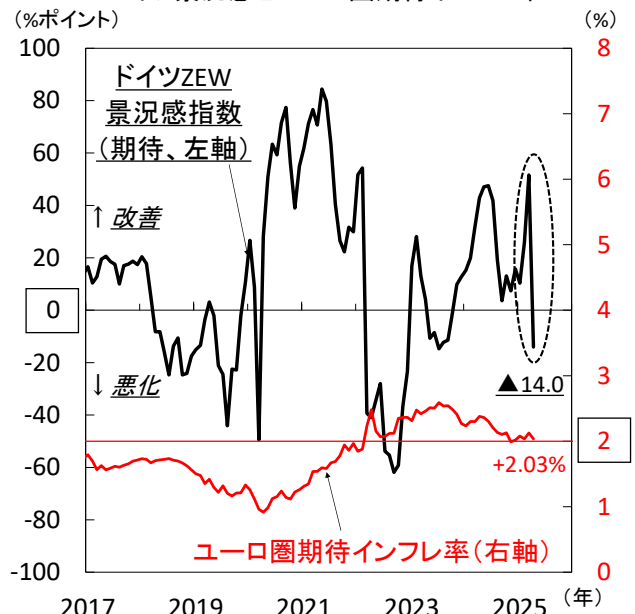


注) 政策金利はユーロ圏が預金ファシリティ金利、米国がFF目標金利。直近値は2025年4月17日。

出所) LSEGより三菱UFJアセットマネジメント作成

【図2】 世界貿易戦争により欧州の市場心理は悪化、
他方、インフレ期待は足元も落ち着いた推移

ドイツ景況感とユーロ圏期待インフレ率



注) ここでの期待インフレ率は5年先5年物インフレスワップ・レート。ユーロ圏のインフレ目標は+2%。直近値はともに2025年4月。

出所) 独ZEW、LSEGより三菱UFJアセットマネジメント作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJアセットマネジメント ストラテジック・リサーチ部リサーチグループの見解です。また、三菱UFJアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

取り扱い金融商品に関する留意事項

●商号等:岡三証券株式会社 岡三オンライン証券カンパニー/金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号

第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業、投資助言・代理業

●加入協会:日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

●リスク:【株式等】株価変動による値下りの損失を被るリスクがあります。信用取引および株価指数証拠金取引(以下、「株価指数CFD」)では、投資金額(保証金・証拠金)を上回る損失を被る場合があります。株価は、発行会社の業績、財務状況や金利情勢等様々な要因に影響され、損失を被る場合があります。投資信託、不動産投資証券、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等は、裏付け資産の評価額(指数連動型の場合は日経平均株価・TOPIX等)等、株価指数CFDは対象指数等の変化に伴う価格変動のリスクがあります。外国市場については、為替変動や地域情勢等により損失を被る場合があります。上場投資信託(ETF)および指数連動証券(ETN)のうち、レバレッジ型・インバース型の価格の上昇率・下落率は、2営業日以上の場合、同期間の原指数の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じたものとは通常一致せず、それが長期にわたり継続することにより、期待した投資効果が得られないおそれがあります。上場新株予約権証券は、上場期間・権利行使期間が短期間の期限付きの有価証券であり、上場期間内に売却するか権利行使期間内に行使しなければその価値を失い、また、権利行使による株式の取得には所定の金額の払込みが必要です。株価指数CFDでは建玉を保有し続けることにより金利相当額・配当相当額の受け払いが発生します。【FX】外国為替証拠金取引(以下、「FX」)は預託した証拠金の額を超える取引ができるため、対象通貨の為替相場の変動により損益が大きく変動し、投資元本(証拠金)を上回る損失を被る場合があります。外貨間取引は、対象通貨の対円相場の変動により決済時の証拠金授受の額が増減する可能性があります。対象通貨の金利変動等によりスワップポイントの受取額が増減する可能性があります。ポジションを構成する金利水準が逆転した場合、スワップポイントの受取から支払に転じる可能性があります。為替相場の急変時等に取引を行うことができず不測の損害が発生する可能性があります。【各商品共通】システム、通信回線等の障害により発注、執行等ができず機会利益が失われる可能性があります。

●保証金・証拠金:【信用】最低委託保証金30万円が必要です。信用取引は委託保証金の額を上回る取引が可能であり、取引額の30%以上の委託保証金が必要です。【株価指数CFD】発注証拠金(必要証拠金)は、株価指数ごとに異なり、取引所により定められた証拠金基準額となります。Webサイトで最新のものをご確認ください。【FX】個人のお客様の発注証拠金(必要証拠金)は、取引所FXでは、取引所が定める証拠金基準額に選択レバレッジコースに応じた所要額を加えた額とし、店頭FXでは、取引金額(為替レート×取引数量)×4%以上の額とします。一部レバレッジコースの選択ができない場合があります。法人のお客様の発注証拠金(必要証拠金)は、取引所FXでは、取引所が定める証拠金基準額とし、店頭FXでは、取引金額(為替レート×取引数量)×金融先物取引業協会が公表する数値とします。発注証拠金に対して、取引所FXでは、1取引単位(1万又は10万通貨)、店頭FXでは、1取引単位(1,000通貨)の取引が可能です。発注証拠金・取引単位は通貨ごとに異なります。Webサイトで最新のものをご確認ください。

●手数料等諸費用の概要(表示は全て税込・上限金額):【日本株】取引手数料には1注文の約定代金に応じたワンショットと1日の合計約定代金に応じた定額プランがあります。ワンショットの上限手数料は現物取引で3,300円、信用取引で1,320円。定額プランの手数料は現物取引の場合、約定代金200万円以下で上限1,430円、以降約定代金100万円ごとに550円加算、また、信用取引の場合、約定代金200万円以下で上限1,100円、以降約定代金100万円ごとに330円加算します。手数料プランは変更可能です。信用取引手数料は月間売買実績により段階的減額があります。信用取引には金利、管理費、権利処理等手数料、品貸料、貸株料の諸費用が必要です。【上場新株予約権証券】日本株に準じます。【中国株】国内取引手数料は約定金額の1.1%(最低手数料5,500円)。この他に香港印紙税、取引所手数料、取引所税、現地決済費用等の諸費用が必要です。売買に当たり円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。【株価指数CFD】取引手数料は、セルフコースは1枚につき330円、サポートコースは1枚につき3,300円です。【投資信託】換金時には株式投信の場合、基準価額に対して最大0.50%の信託財産留保金をご負担いただく場合があります。公社債投信の場合、換金手数料として1万円につき最大110円をご負担いただきます。信託財産の純資産総額に対する信託報酬(最大2.42%(年率))、その他の費用を間接的にご負担いただきます。また、運用成績により成功報酬をご負担いただく場合があります。詳細は目論見書でご確認ください。【FX】取引所FXの取引手数料は、セルフコースはくりっく365が無料、くりっく365ラージが1枚につき1,018円、サポートコースはくりっく365が1枚につき1,100円、くりっく365ラージが1枚につき11,000円です。店頭FXの取引手数料は無料です。スプレッドは、通貨ごとに異なり、為替相場によって変動します。Webサイトで最新のものをご確認ください。

●お取引の最終決定は、契約締結前交付書面、目論見書等およびWebサイト上の説明事項をお読みいただき、ご自身の判断と責任で行ってください。